

2018年11月30日

NHK大河ドラマ「西郷どん」放映による鹿児島県への経済効果について

株式会社 九州経済研究所

当研究所は、NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映にともなう鹿児島県への経済効果についての試算をまとめた。

1. 試算結果

(1) 産業連関分析による経済効果

NHK大河ドラマ「西郷どん」の放映に伴う観光客の消費額と、西郷どん関連施設の運営経費や施設建設等の関連投資額を合算した需要発生額(A)を186億円と試算し、「2011年 鹿児島県産業連関表」を用いて経済効果を算出した。その結果、直接効果^{注1}(B)が168億円、間接効果(C+D)(第1次生産誘発額^{注2}(C)60億円、第2次生産誘発額^{注3}(D)30億円)が90億円、経済効果(E)は、258億円と試算され、生産誘発倍率(E/A)は、1.39倍となった。なお、最終的には、直接効果+第1次生産誘発額+第2次生産誘発額を経済効果とした。

産業連関分析による経済効果の試算結果

(単位：億円：人)

	生産 誘発額	付加価値 誘発額	雇用者所得 誘発額	就業者 誘発数
需要発生額 (A)	186			
直接効果 (B)	168	90	45	1,904
第1次生産誘発額 (C)	60	33	14	554
第2次生産誘発額 (D)	30	20	7	235
経済効果 (E=B+C+D)	258	143	66	2,692
生産誘発倍率 (E/A)	1.39倍			

注1 直接効果：需要発生額に自給率を乗じて、推計した県内における需要額である。

注2 第1次生産誘発額：宿泊費や飲食費、会場建設費などの直接効果の増加によって生み出される生産額の増加分である。

注3 第2次生産誘発額：第1次生産誘発額が生じた結果、各産業への波及効果により雇用所得が発生する。これに一定の比率を乗じた家計消費からの民間消費需要の増加によって、生み出される生産額の増加分である。

株式会社 九州経済研究所

2. 試算の概要（詳細は、『NHK大河ドラマ「西郷どん」の経済効果算出フロー』参照）

NHK 大河ドラマ「西郷どん」放映により観光客が訪れる可能性の高い観光施設や奄美群島内の宿泊施設（以下「西郷どん関連施設」という）において行ったアンケート結果から、ドラマをきっかけに西郷どん関連施設を訪れた観光客（以下「西郷どん効果観光客」という）を抽出し、観光消費額を推計した。加えて、西郷どん関連事業や施設などの運営・建設費等の関連投資額を推計し、それぞれの推計値を鹿児島県企画部統計課が公表している「2011年 鹿児島県産業連関表」を用いて経済効果を試算した。

＜アンケート調査の概要＞

鹿児島県内外からの宿泊や日帰り客数及びドラマをきっかけに訪れた西郷どん効果観光客数などを算出するため、西郷どん関連施設の入場者にアンケート調査を以下の通り実施した。

A：西郷どん大河ドラマ館、維新ふるさと館、仙巖園、西郷南洲顕彰館、雄川の滝

B：いぶすき西郷どん館、奄美群島内の宿泊施設

- ・実施日 A：2018年9月6日（木）、7日（金）、8日（土）、9日（日）、13日（木）、14日（金）、15日（土）の7日間
 B：2018年9月10日（月）～24日（月）の15日間
- ・方法 A：面接による聞き取り、B：各施設入場者・宿泊者に配布
- ・調査対象 A：西郷どん関連施設の入場者を無作為抽出
 B：配布後回答があったもの
- ・回答数 1,157件（全て有効回答）

（1）西郷どん効果観光客数の推計

西郷どん効果観光客数の推計を次のとおり行った。

① 西郷どん関連施設の選定【フロー図①】

西郷どん関連施設については、次の理由で以下の9つを選んだ。

施設名	選定の理由
西郷どん大河ドラマ館	ドラマの放映に合わせて開設され、実際に劇中で使われた小道具等ドラマに関する展示が主体である。
維新ふるさと館	西郷隆盛誕生地に近く、幕末の様子や明治維新期に活躍した人物の展示がある。上記の大河ドラマ館の場所にも近い。
仙巖園	島津家の別邸や尚古集成館があり、ドラマのロケ地ともなった。一部は2015年に世界文化遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産に登録されている。

西郷南洲顕彰館	西郷隆盛をはじめ明治維新の先覚者たちの偉業を伝える史料館。同じ敷地内には西南戦争の戦死者が埋葬された南洲墓地、西郷隆盛が祀られた南洲神社がある。
いぶすき西郷どん館	ドラマに合わせた展示や西郷隆盛と指宿の関わりなどが紹介される。
雄川の滝	ドラマのオープニングに取り上げられ、多くの観光客が訪れるようになった。
奄美大島内の宿泊施設	西郷隆盛が政局の変化で潜居を命じられた島。南洲流謫跡やりゅうがく館といった史料館などがある。
徳之島内の宿泊施設	二度目の遠島で最初に流された島。いくつかの記念碑などが残る。
沖永良部島内の宿泊施設	さらなる遠島命令を受け流された島。西郷南洲記念館などがある。

② 西郷どん関連施設の年間入場者数の推計【フロー図②】

ドラマの放映期間に合わせ、18年1月1日から同年12月末までの西郷どん関連施設入場者数を直近までの入場者数に基づき推計^{注4}した。

③ 西郷どん効果観光客数の推計【フロー図③④】

前記②の西郷どん関連施設入場者の推計値からドラマをきっかけに訪れた入場者数を抽出^{注5}し、さらに西郷どん関連施設のうちの2施設以上に入場した場合の重複入場者について補正^{注6}を行い、西郷どん効果観光客とし、59万3千人と算出した。

(2) 西郷どん効果観光客による観光消費額の推計

① 一人当たりの観光消費額【フロー図⑤】

「2017年 鹿児島県の観光の動向」、「奄美大島総合戦略推進本部 交流人口動態調査(2015年度)」から一人当たりの観光消費額を算出し、その支出内訳を産業別にふり分けた。

② 西郷どん効果観光客による観光消費額の推計【フロー図⑥】

【フロー図④⑤】から、西郷どん効果観光客による観光消費額の合計を162億円と推計した。

(3) 施設の運営経費と投資額【フロー図⑦】

各自治体の18年度当初予算や新聞、ヒアリングなどから、西郷どん関連施設

^{注4} 推計：西郷どん大河ドラマ館、いぶすき西郷どん館については、08年のNHK大河ドラマ「篤姫」放映時に開設された鹿児島篤姫館、いぶすき篤姫館の入館者数の推移をもとに推計した。また、維新ふるさと館、仙巖園、西郷南洲顕彰館、雄川の滝は、18年1月～9月までの入場者数の前年比伸び率を、17年の年間入場者数に乗じて推計した。奄美群島については、各島の空港利用者の18年1月～8月の前年比伸び率を、17年の入域者数に乘じ、その増加分に各調査等による観光客割合を乗じて推計した。

^{注5} 抽出：アンケートの結果から抽出。

^{注6} 補正：アンケート結果から重複入場者を集計して、それぞれの西郷どん関連施設ごとに次の式で補正した。重複補正＝1施設の入場者＋(2施設の入場者／2)＋(3施設の入場者／3)＋(4施設の入場者／4)＋(5施設の入場者／5)＋(6施設の入場者／6)。

などの運営経費・施設建設費や西郷どん関連事業費などの関連投資額を可能な限り入手した。この西郷どん関連投資額を 24 億円と推計した。

(4) 需要発生額【フロー図⑧】

【フロー図⑥⑦】を合計し、需要発生額を 186 億円とした。

(5) 産業連関分析【フロー図⑨】

「2011 年 鹿児島県産業連関表」を用いて経済効果を算出した。

3. さいごに

前述のとおり、今回の NHK 大河ドラマ「西郷どん」放映による鹿児島県への経済効果は 258 億円と算出した。これは 2008 年に弊社が大河ドラマ「篤姫」放映による経済効果として算出した 262 億円をわずかに下回ることとなった。

「西郷どん」放映前には、08 年当時よりも九州新幹線全線開業や LCC（格安航空会社）就航などによる交通アクセスが改善したことに加え、本県の離島がロケ地になることや今年が明治維新 150 年にあたることから注目度がさらに高まり、篤姫を上回る経済効果が期待された。

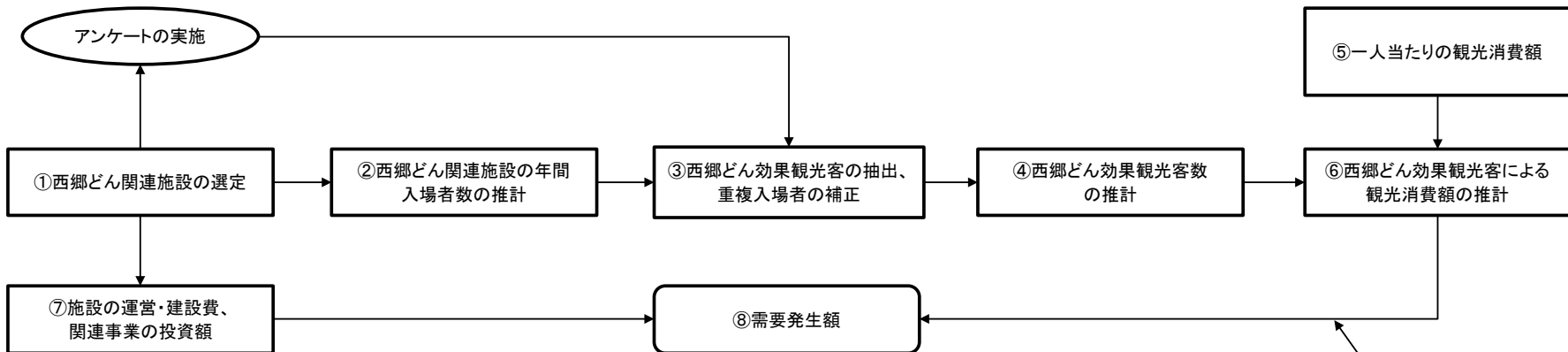
しかしながら、08 年当時と違って旅行形態は団体旅行から個人旅行が主体となり目的や嗜好が多様化していること、テレビ離れが進行していることに加え、17 年が前年の熊本地震からの回復で大幅に伸び、今年はその反動が表れていることなどから、鹿児島市が設置した大河ドラマ館など西郷どん関連施設の入場者数は「篤姫」放映時を下回って推移しており、その結果篤姫の経済効果には及ばなかった。

ただ新燃岳や硫黄山の噴火活動の活発化や全国で自然災害が続く中、鹿児島県全体の観光客数は前年を上回るペースで推移していることから（18 年 8 月時点）、大河ドラマ放映による一定の下支え効果は表れており、インバウンドの増加など大河ドラマ以外でも観光客を呼び込めるポテンシャルが着実に育っていると見える。あわせて、今回は大隅や離島地区の観光客増加に貢献し、大河ドラマ効果が広域的に及んだことも特徴である。今回の試算を契機に本県の観光の現状を再度見つめなおし、ハード・ソフト両面の整備や情報発信力の強化など一層加速化させ今後の本県の観光を持続的な発展につなげてもらいたい。

以上

【本件に関するお問い合わせ】 経済調査部 小薄 (Tel 099-225-7491)

NHK大河ドラマ「西郷どん」の経済効果算出フロー



③西郷どん効果観光客の抽出、重複入場者の補正

項目	件数	構成比(%)
アンケート総数	1,157	
うち西郷どん効果観光客	665	57.5
うち1施設のみ入場	320	27.7
うち2施設入場	148	12.8
うち3施設入場	118	10.2
うち4施設入場	61	5.3
うち5施設入場	15	1.3
うち6施設入場	3	0.3

重複入場補正

産業連関分析の結果 (単位:億円)

需要発生額(A)	186
直接効果(B)	168
第1次生産誘発額(C)	60
第2次生産誘発額(D)	30
経済効果(E=B+C+D)	258
生産誘発倍率(E/A)	1.39倍

④西郷どん効果観光客数の推計(18年)
(単位:千人)

宿泊客		日帰り客		合計
県外	県内	県外	県内	
409	22	34	128	593

⑤一人当たりの観光消費額

(単位:円)

	宿泊客		日帰り客		奄美群島 宿泊
	県外	県内	県外	県内	
消費額	36,508	20,510	7,780	3,893	38,495
対個人サービス	18,550	10,421	3,953	1,978	14,627
運輸業	8,571	4,815	1,826	914	6,152
飲食料品	7,766	4,363	1,655	828	14,971
繊維製品	1,327	746	283	142	2,246
パルプ・紙・木製品	98	55	21	10	166
窯業・土石製品	98	55	21	10	166
その他製造工業製品	98	55	21	10	166

⑥西郷どん効果観光客による観光消費額の推計

(単位:百万円)

	宿泊客		日帰り客		合計
	県外	県内	県外	県内	
消費額	14,949	456	268	497	16,170
対個人サービス	7,574	229	68	126	7,998
運輸業	3,497	106	94	175	3,872
飲食料品	3,209	101	83	154	3,546
繊維製品	547	17	18	34	616
パルプ・紙・木製品	41	1	1	3	46
窯業・土石製品	41	1	1	3	46
その他製造工業製品	41	1	1	3	46

注)四捨五入の関係で合計は一致しない

資料)県観光課「2017年 鹿児島県の観光の動向」
奄美大島総合戦略推進本部「交流人口動態調査 (2015年度)」
鹿児島経済同友会「新たな観光戦略の提言について 2014年」

注)四捨五入の関係で合計は一致しない